

「第2の創業期へ臨む」

道ニュービジ
ネス協議会

宮田新会長、意気込み

【札幌】北海道ニュービジネス協議会の2026年度定時総会が29日、札幌で開かれた。小砂憲一会長が体調を崩して5月で退任し、釧路のサン

エス電気通信社長・宮田昌利副会長が理事会で会長に選任されて初めての総会となった。宮田会長は来年3月までに行いたい事として



「私案」と断りながら、新しいビジネス交流拠点として協議会事務局を移転。会員企業の基盤強化や安定化に寄与する活動を打ち出し、ネットワークをつなぎ直して釧路をはじめ道内各地の団体などと連携し、行政や金融、大学とも関係を強化。新

しい北海道の成長戦略への参加を目標に掲げた。また、高市内閣の日本成長戦略に呼応し、農業や水産、林業の北海道の1次産業と結んだ新しいビジネスを構築。陸上養殖や植物工場など食料安全保障に向けたビジネス構築に取り組むなど、「第2の創業期に入るつもりで臨みたい」と意気込みを語った。（武田博）

「第2の創業期に入るつもりで臨みたい」と語る宮田会長

サンエス企業グループ代表 宮田昌利が会長を務める「北海道ニュービジネス協議会」の関係記事です

6月30日付の北海道新聞、北海道通信にも同様の記事が掲載されました